**リトル小１クラス指導目標カリキュラム**

□方丈記「ゆく河の流れ」を講師の後について読むことができる。（音読）

□方丈記「ゆく河の流れ」の3行～最後までを一人で言うことができるようになる。（暗唱）

□47都道府県を、講師の後について元気よく言う。（短冊）

□お手本通りに物語を丁寧に書く。（すずめ）

□たし算ができるだけ早く正確にできるようになる。（めだか）

□「１」～「１００」の数字を、２から始めて１つおき・３から始めて２つおき・５から始めて４つおきに〇をつけることができるようになる。（てんとうむし）

□転がしたいろいろな形をイメージできるようになる。〈回転図形〉（てんとうむし）

□いろいろな点・線図形を丁寧に書けるようになる。（てんとうむし）

□４つのお手本通りにそれぞれの記号を書くことができる。〈置き換え〉（てんとうむし）

□同じ形を書くことができるようになる。〈同図形・位置〉（てんとうむし）

□半分に折ってある形を切り、開くとどんな形ができているか想像できるようになる。〈線対称〉（てんとうむし）

□順序よく並ぶように、空いているところに書きこむことができるようになる。〈パターン〉（てんとうむし）

□毎日１枚・１ページホームワークを家で行うことができる。（宿題）

□漢字辞典・国語辞典を使って分からない漢字や言葉を講師と一緒に調べることができる。（こくご）

□正しい姿勢を保ち、しっかりと力の入った鉛筆の持ち方で点線に沿って、自由に鉛筆を動かすことができる。（こくご）

□背筋を伸ばし、はっきりと大きな声で口の形を意識してリズムよく音読ができるようになる。（こくご）

□濁音「ば」・半濁音「ぱ」・促音「っ」・長音「おかあさん」「おとうさん」・拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」を正しく読み書きできる。（こくご）

□ひらがなを、「はね」「とめ」「はらい」をしっかり意識して正しく書くことができる。（こくご）

□助詞の「が」の使い方や文末に句点を付けることを理解する。（こくご）

□助詞の「は」「へ」「を」の使い方を理解し、正しく読める。（こくご）

□丁寧な言葉で、書き出しを１ますあけ、句読点の書き方や位置を正しく書くことに気を付けながら、自分がしたことを文章に書くことができる。（こくご）

□絵日記の書き方をおさえることができる。（こくご）

□夏休みにどんなことをしたのか書くことができる。（こくご）

□１年生で習う漢字８０字を、読み書きできる。（こくご）

□漢字を正しい書き順で丁寧に書くことができる。（こくご）

□ひらがなをカタカナで書くことができる。（こくご）

□したことを「はじめに」「それから」「そして」「つぎに」を使って書くことができる。（こくご）

□身の回りの音や様子、動物の鳴き声、食べ物を食べる時の音などを言葉で表すことができる。（こくご）

□文章をすらすらと音読できる。（こくご）

□「１０」までの数の読み方や書き方、数系列を理解する。（さんすう）

□数の順番と集まりを理解できる。〈順序数・集合数〉（さんすう）

□「５」～「１０」までの数の合成・分解ができる。（さんすう）

□いろいろな形の特徴を理解する。（さんすう）

□数量の増減を理解する。（さんすう）

□１０までのたし算が確実に速くできる。（さんすう）

□「あわせて」「ふえると」の意味を確実に理解する。（さんすう）

□１０までのひき算が確実に速くできる。（さんすう）

□「のこり」「ちがい」の意味を確実に理解する。（さんすう）

□「２０」までの数の書き方、数系列、大小比較、２とび５とびの数の数え方を理解する。（てんとうむし）

□「２０」までのたし算・ひき算が確実に速くできる。（さんすう）

□何時・何時半の時刻を読むこと、表すことができる。〈時計〉（さんすう）

□長さやかさの大きさを比べることができる。（さんすう）

□３つの数の計算が確実にできる。（さんすう）

□繰り上がりたし算の仕方を理解する。〈加数分解・被加数分解〉（さんすう）

□繰り上がりのたし算を、慣れたやり方で状況に応じて使い分け、確実にできるようになる。（さんすう）

□いろんな板や棒を並たり、点つなぎで形の構成を理解する。（さんすう）

□繰り下がりのひき算の仕方を理解する。〈減加法・減減法〉（さんすう）

□繰り上がりのひき算を、慣れたやり方で状況に応じて使い分け、確実にできるようになる。（さんすう）

□「０」のたし算とひき算ができる。（さんすう）

□ものと人の数を対応させたたし算・ひき算を理解できる。〈１対１対応〉（さんすう）

□大きい数の数え方・書き方を覚え、大小、系列を理解する。（さんすう）

□大きい数のたし算・ひき算ができる。（さんすう）

□何時何分の時刻を読むこと・表すことができる。（さんすう）

□１００までの数の計算ができるようになる。（さんすう）

□同じ数ずつに分けるイメージが持てるようになる。（さんすう）

□「何個多い」「何個少ない」をイメージすることができるようになる。（さんすう）

□広さの大きさを比べることができる。（さんすう）

※お子様に学習していただく内容は、保護者様とご相談の上決定させて頂きます。